

森林公園だより： 初夏の森林公園付近で見られるトンボ

No. 2
2020年6月20日

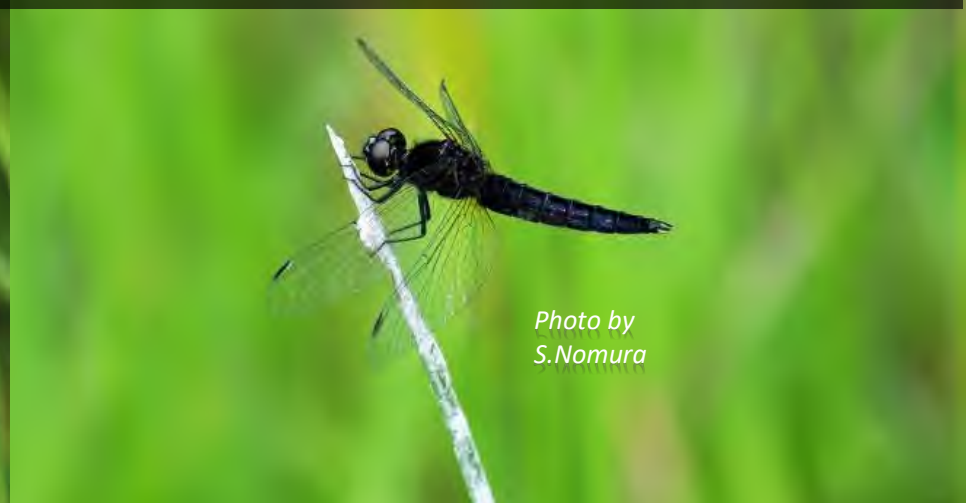
クロスジギンヤンマ：初夏までに見られる大型トンボ。三国山で幼虫が確認されている。



サラサヤンマ：ヤンマ科としては小型、湿地に棲息。湿生植物園付近で5月頃に見られる。



ハラビロトンボ：湿地に見られる中型トンボ。メスは黄色い。石川県では10数年前に確認されたが、現在では県全域に分布し、個体数も多い。(左)新成虫メス、(右)オス



ヒメクロサナエ：源流域に生息する流水性のトンボ。三国山付近の源流域で羽化が確認されている。



カワトンボの仲間：河川に棲息するトンボ。ニホンカワトンボとアサヒナカワトンボの2種が分布し、見分けには熟練が必要。森林公園には2種とも分布する。

トンボといえば秋をイメージされる方も多いようですが、実際には春終わり頃から様々な種が見られるようになります。今回は、春後半頃から初夏にかけて、森林公園周辺で活動を始めるトンボを集めてみました。